

令和 4年度
令和 7年度

経営体育成基盤整備事業

斎富・南方地区

事業変更計画書

目 次

第 1 章	目 的	・ ・ ・ ・ ・	1
第 2 章	地域及び地積	・ ・ ・ ・ ・	1
第 3 章	現 況	・ ・ ・ ・ ・	2
第 4 章	一般計画	・ ・ ・ ・ ・	1 6
第 5 章	主要工事計画	・ ・ ・ ・ ・	3 1
第 6 章	附帯工事計画	・ ・ ・ ・ ・	4 2
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	・ ・ ・ ・ ・	4 2
第 8 章	環境との調和への配慮	・ ・ ・ ・ ・	4 2
第 9 章	換地計画の概要	・ ・ ・ ・ ・	4 3
第 1 0 章	事業費の総額及び内訳	・ ・ ・ ・ ・	4 7
第 1 1 章	効 用	・ ・ ・ ・ ・	4 8
第 1 2 章	関連する事業	・ ・ ・ ・ ・	4 8
第 1 3 章	現況・計画図面	・ ・ ・ ・ ・	4 9
添 付 資 料			

第1章 目 的

本地区は赤磐市の南西部の平野部に位置し、砂川及び十七川の周辺に広がる低平地の斎富地域と山陽自動車道より南に展開する傾斜地の南方地域からなり、都市近郊農業地域での個人経営による水稻を中心とした営農が行われている。また、大豆やトマトなどの栽培が行われており、近隣の直売施設などに出荷されている。

本地区では、農業者の高齢化の進行に加え担い手不足が深刻で、営農の継続が次第に困難となっており、本地区のほ場は未整備で小区画・不整形、かつ用排水分離が出来ていないため、担い手への農地利用集積や高収益作物の導入が進まない状況にある。

そこで、本事業によりほ場整備を行い、営農労力の節減による生産効率の向上や、農地の汎用化を図ると共に、担い手への農地利用集積を進め、効率的かつ安定的な農業経営を実現する。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
経営体育成基盤整備事業	赤磐市斎富・南方

第2節 地 積

(令和4年4月現在)
(令和8年3月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
経営体育成基盤整備事業	赤磐市	36.8 37.3	- -	- -	- -	2.4 2.5	39.2 39.8	
合 計		36.8 37.3	- -	- -	- -	2.4 2.5	39.2 39.8	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	岡山市	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	R3. 4年～R4. 3年 R6. 4年～R7. 3年	4月～ 9月 4月～ 9月	10月～ 3月 10月～ 3月		
平均気温 (°C)		22.7 24.7	9.4 9.8	16.1 17.3	
降 水 量	平 均 (mm)	150.9 166.0	41.8 77.2	1,156.0 1,459.5	
	基準年	R3 R6	R3 R6	R3 R6	
降水日数	平 均 (日)	9.5 14.5	4.5 6.9	84.0 128.0	
	基準年	R3 R6	R3 R6	R3 R6	
根 雪 期 間		—	—	—	
無 霜 期 間		—	—	—	
最 多 風 向		東北東 南西	西 西北西		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
岡山市															
観測期間	数	年	発生確率	数	年	発生確率	数	年	発生確率	数	年	発生確率	数	年	発生確率
M. 24年～H. 29年	量	月	日	量	月	日	量	月	日	量	月	日	量	月	日
最大日雨量 (mm)	187.0	H23 9.3	1/300	177.4	M25 7.23	1/190	167.2	T15 7.6	1/117	158.0	H2 9.18	1/74	146.5	S60 6.25	1/42
最大時間雨量 (mm)	67.0	S25 9.7	1/89	62.0	H6 7.7	1/54	49.0	S28 7.18	1/15	46.5	H26 7.2	1/11	46.0	H18 6.26	1/11
最大4時間雨量 (mm)	108.0	S25 9.7	1/62	100.0	H6 7.7	1/38	97.0	S54 10.19	1/31	90.0	H5 9.3	1/20	78.0	S50 9.23	1/10
最大4日連続雨量 (mm)	360.5	S51 9.9	1/600	313.0	H2 9.16	1/210	256.3	M25 7.22	1/54	249.0	H7 7.3	1/45	230.0	S60 6.22	1/28
最大連続干天日数 (日)	57	S46 10.31	1/66	54	S26 7.16	1/40	52	H16 1.1	1/28	51	S31 11.11	1/24	50	H17 11.12	1/21

3. 海 象

該当なし

(第3表-3)

観測所名		既往最高 潮位 (m)	さく望平均 満潮位 (m)	上下弦平均 満潮位 (m)	平均 潮位 (m)	上下弦平均 干潮位 (m)	さく望平均 干潮位 (m)	既往最低 潮位 (m)	備考
観測期間	年～年								
実 測 値		()						()	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地 標高(m)		備考
	傾斜 区分	1/300 ～ 以下	1/300 ～ 1/100	1/100 ～ 1/30	1/30 ～ 以上		計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°							
経営 体育 成基 盤整 備事 業	面積 (ha)	13.2 13.4	14.8 14.9	4.0 4.1	4.8 4.9		36.8 37.3	—	—	—	—	—	—	—	—	32.31	10.69	
	比率 (%)	36% 36%	40% 40%	11% 11%	13% 13%		100 100											
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合 計	面積 (ha)	13.2 13.4	14.8 14.9	4.0 4.1	4.8 4.9	—	36.8 37.3	—	—	—	—	—	—	—	—			
	比率 (%)	36% 36%	40% 40%	11% 11%	13% 13%		100 100											

(第4表-1-2)

項目 土壌統 (区) 名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備 考	
	土 壌 断 面									事 業 名				
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈 澱物	土 性			泥炭層 黒泥層 及 び グライ層	堆積 様式	母 材	経営体育成 基盤整備事 業			計
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
グライ土 壤 壤土型 (E43)					SiL SiCL	SiL SiCL					35.1		35.1	
計											35.1		35.1	

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程		備 考
		0%	0~25%	25~50%	50%以上	0mm	3mm 未満	3~5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四級地			
			※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
計													※は傾斜以外 の要因によるもの	

(第4表－2－2)

市町村名	干 拓					備 考
	一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(平成29年4月現在)
(令和8年3月現在) (第4表－3)

事業名	市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
経営 体育成 基盤整 備事業	赤磐市	36.8 37.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2.4 2.5	39.2 39.8	
合 計		36.8 37.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2.4 2.5	39.2 39.8	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	国 有	県 有	市 有	計	備 考
経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業	面積 (ha)	36.8 37.3			2.4 2.5	39.2 39.8	
	受益者数 (人)	84 69			1 1	85 70	
	筆 数 (筆)	564 575			143 144	707 719	
	権 利 関 係	個人			市		
	備 考 (関係戸数)	(84) (69)				(84) (69)	
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面積 (ha)	36.8 37.3			2.4 2.5	39.2 39.8	
	受益者数 (人)	84 69			1 1	85 70	
	筆 数 (筆)	564 575			143 144	707 719	
	権 利 関 係	個人			市		
	備 考 (関係戸数)	(84) (69)				(84) (69)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

毎年6月中旬より取水を始め、用水系統順にかんがいし、水番を設け有効利用を図る。

(1) 用水系統

別紙用水系統模式図参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	受益面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備考
		100ha以上		～50ha		50ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	m³/s	
経営体育成基盤整備事業	貯水池					6 6	35.44 35.90	6 6	35.44 35.90					0.4709 0.4709	
	井 堰					1 1	1.40 1.40	1 1	1.40 1.40			1 1	0.0072 0.0072	0.0072 0.0072	
	自然 取入口														
	揚水機														
	その他														
合 計						7 7	36.84 37.30	7 7	36.84 37.30			1 1	0.0072 0.0072	0.4781 0.4781	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	貯水池							
	井 堰							
	自 然 取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計								

(ア) 用水不足による被害状況

[illegible]

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面 積 (ha)	水温(℃)		水 質	被害量 (t)	備 考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想 定 被 害 面 積 (ha)				想 定 被 害 額 (千円)						備 考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家 屋 その他	計	
合 計											

2. 排水状況

(1) 排水系統

別紙排水系統模式図面参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排 水 面 積						計		排 水 行 (m³/S)	現 況 排水能力 (m³/S)	備 考
			箇所	地区内	地区外								
	ha	ha		ha	ha	ha	箇所	ha					
経営体育成基盤整備事業	自然	排水路	3	35.12	179.09				3	214.21	7.002		
		水 門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計								3	214.21	7.002		
合 計								3	214.21	7.002			

(イ)改修を要する施設の一覧表

(第5表－5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益 面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名								
	自然	排水路							
		水 門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均 減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量 (t)	
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1. 道路概況

地区内の道路は、市道沼田船廻線及び市道斎富本線以外は未整備な路線が多く、幅員狭小で耕作に支障をきたしている。また、線形も直線的でなく曲がった箇所が多いため、地区内道路を流用して区画を計画した場合、田の形がいびつになり、効率的な耕作に支障が出る。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
	農道	赤磐市	4,200	1.0～3.0		As舗装		

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表－1)

市町村名	項 目	総 数	第1次産業			第2次産業	第3次産業	そ の 他									備 考
			農 業	林 業	漁 業												
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
赤磐市		20,552	1,602	19	2	5,895	12,503	531									
計		20,552	1,602	19	2	5,895	12,503	531									
比率 (%)		100	7.8%	0.1%	0.0%	28.7%	60.8%	2.6%									

中国四国農林水産統計データ(令和2年) 5人口(2)産業別就業者数

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村別名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数戸数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専兼業別家数(戸)		備考		
		例外規定の適用を受けるもの	0.5 ha未満	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業		兼業	
																							第一種	第二種
赤磐市	1,901	4	324	508	204	59	62	43	27	4	6	660	1.24	0.17	0.34	1.75	0.33	2.08			152	167	902	
計	1,901	4	324	508	204	59	62	43	27	4	6	660	1.24	0.17	0.34	1.75	0.33	2.08			152	167	902	
比率(%)	100.0	0.2	17.0	26.7	10.7	3.1	3.3	2.3	1.4	0.2	0.3	34.7												

2020年農林業センサス調査結果[確定値]

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具										主 要 家 畜										備 考
	トラクタ		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏				
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	
赤磐市	1,535	1,500	2,453	2,226	1,845	1,817					-	-	112	3	-	-	85,300	3			
計	1,535	1,500	2,453	2,226	1,845	1,817					-	-	112	3	-	-	85,300	3			
100戸当たり 数 量 (台、頭)	102		110		102						-		3,733		-		2,843,333				
利用戸数割合 (%)	100%		100%		100%																

動力農機具は2020農林業センサスにないために2015センサス(変更なし)、主要家畜は2020農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			赤磐市						計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積 (ha)			2,370 2,310									
総本地面積 (ha)			—									
区 分 作物名			作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収 量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収 量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収 量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収 量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	水稲	1,290 1,290	522 522					1,290 1,290	522 522		
	裏作	麦	50 43	289 158					50 43	289 158		
	小 計		1,340 1,333						1,340 1,333			
畑	春夏作											
	秋冬作											
	小 計											
樹園地												
	小 計											
計												
市 町 村 別 延べ作付率 (%)												

中国四国農林水産統計データ(令和3年)より
作物統計調査(令和7年)より

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を 100とす る指数)	総農家数	86.8	73.2	耕地	91.0	85.1	水稲	92.7	109.7	乳用牛	-	-	田植機	82.4	※1	A:2020年 B:2015年 C:2010年	
	専業農家数	98.3	※1	田	91.9	86.8	麦類	128.9	131.6	肉用牛	60.0	60.0	コンバイン	80.8	※1		
	第1種 兼業農家数	55.7	※1	畑	80.7	79.0	豆類	77.1	96.4	採卵鶏	69.2	52.0	乗用型 トラクター	100.0	※1		
	第2種 兼業農家数	79.8	※1	樹園地	90.2	74.3											
変化の理由	総農家数は26.8%減少している。専業農家は横ばいであるが兼業農家が減少している			田、畑、樹園地とも減少しており耕地面積が14.9%減少している。			市場の需要により豆類が減少しているが、麦については増加している。			採卵鶏は減少しているが、乳・肉用牛は飼育されていない			兼業農家数減少により田植機、コンバインが減少している。				

2020年～2010年センサスより(※1箇所は2020農林業センサスにデータなし)

第6節 地域環境の概況

自然的条件

赤磐市は、岡山県中南部に位置し、東西16.2km、南北14.3km、北部を久米南町と美咲町、東部を和気町、南部を備前市と瀬戸内市、西部を岡山市にそれぞれ隣接し、総面積は209.36km²である。

赤磐市の平野部には南北に旭川の支流である一級河川、砂川が南に向けて流下している。この河川を中心に平坦部耕地や山間部に階段状の耕地が存在している。。

赤磐市の気候は温暖で、雨が少ない典型的な瀬戸内気候を示し、四季を通じて

激しい気候の変化がない地域である。日平均気温は9月の29.9℃が最高、1月の3.8℃が最低で、年平均気温は17.3℃である。また年間降水量は1,460mmである。

社会経済的条件

赤磐市（斎富・南方地域）はほぼ赤磐市の中心地域に位置し、岡山市中心部まで約13km、山陽ICのすぐ近くと交通の便は比較的良好な地域である。赤磐市の主な産業は農林業、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業が中心で、農業では

令和4年11月1日 43,437
水稲、大豆等を生産している。人口は、令和8年3月1日現在41,985人、世帯数18,778、246、96
18,938世帯で、（斎富・南方地域）については人口236人、世帯数100世帯であり、人口減少傾向と高齢化が進んでいる。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区は、赤磐市の南西部に位置し砂川の支流である十七川と山陽道に挟まれた平坦地の斎富工区と、岩尾山と細尾山の北側山裾と山陽道に挟まれた傾斜地の南方工区から成っている。地区標高は、斎富工区は11～33m、南方工区は11～20m程度であり、平均地形勾配は、斎富工区(山陽道以西)が1/160程度、南方工区は1/30程度である。

地区内は市道沼田船廻線及び市道斎富本線が主な幹線道路となっており、他の地区内の道路は里道の扱いとなる。現況の耕地状況としては一筆が3～10a程度の小区画水田が大半を占めている。しかも不整形で経営条件向上の障害要因となっている為、本事業では経営体育成を目標とした基盤整備を行う区画は中区画とし(30a以上……全体の3分の2以上)、農道設置(W = 3.0～5.0m)及び用排水路整備、暗渠排水工の整備を行い、農地の汎用化を図ると共に生産労働条件、経営条件等の向上を目指すこととする。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	経営体育成基盤整備事業																		計 (ha)
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	輪 耕 換 地 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	輪 耕 換 地 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	輪 耕 換 地 (ha)	小 計 (ha)	
区画整理	-	-	-	-	34.6	34.6													34.6
計	-	-	-	-	34.6	34.6													34.6

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

高齢化の進展、担い手不足等による農業労働力の低下や質的低下により、農家の生産性意欲及び農業構造が弱体化している。そこで、地域の活性化を図るため、地域ぐるみで担い手の育成確保を図り、農地の汎用化、流動化及び機械施設を有効利用し、生産性の高い農業を実現する。また、水田部門の省力化を進める一方で、野菜等付加価値の高い作物を導入し、農家所得の向上を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	輪換 耕地 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
経営体育成基盤整備事業	現 況	36.8 37.3							36.8 37.3			2.4 2.5	39.2 39.8	
	計 画							34.6	34.6			4.6 5.2	39.2 39.8	
計	現 況	36.8 37.3							36.8 37.3			2.4 2.5	39.2 39.8	
	計 画							34.6	34.6			4.6 5.2	39.2 39.8	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分													備考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
経営体育成基盤整備事業	現況	輪換耕地	水稻 酒米 大豆 黒大豆 キャベツ トマト					△—△ △—△	○—○ ○—○					□□ □□	□ □		
	計画 画	輪換耕地	水稻 酒米 大豆 黒大豆 キャベツ トマト					△—△ △—△	○—○ ○—○					□□ □□	□ □	□□ □□	
△播種 ○植付 □収穫																	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳 (t/ha)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面 積当た り収量 増加	
経営体育成基盤整備事業	水田	水稻	31.6 31.6	23.8 23.5	△ 7.8 △ 8.1	93.2% 93.2%	74.8% 74.6%	508	534 520	26 12	160.5 160.5	127.1 122.2	△ 33.4 △ 38.3	△ 39.6 △ 41.1	6.2 2.8	
		酒米		3.2	3.2		10.1% 10.2%	371 336				11.9 10.8	11.9 10.8	11.9 11.9		
		大豆	1.8	1.8		5.3% 5.7%	5.7% 5.7%	92	106 59	14 -33	1.7 1.7	1.9 1.1	0.2 △ 0.6		0.2 △ 0.6	
		黒大豆	0.3	0.5	0.2	0.9% 1.6%	1.6% 1.6%	83	95 70	12 -13	0.2 0.2	0.5 0.4	0.3 0.2	0.2 0.2	0.1 △ 0.1	
		キャベツ	0.1	1.8	1.7	0.3% 5.7%	5.7% 5.7%	3,867	4,447 3,707	580 -160	3.9 3.9	80.0 66.7	76.2 62.9	65.8 65.7	10.4 △ 2.9	
		トマト	0.1	0.7	0.6	0.3% 2.2%	2.2% 2.2%	4,618	5,311 5,079	693 461	4.6 4.6	37.2 35.6	32.6 30.9	27.7 27.7	4.9 3.2	
	計		33.9 33.9	31.8 31.5		100.0% 100.0%	100.0% 100.0%									
普通畑	春夏作															
	秋冬作															
	計															
合 計			33.9 33.9	31.8 31.5		100.0% 100.0%	100.0% 100.0%									

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
経営体育成基盤整備事業	中区画乾田	水稻	24.3	人 力	35.3	18.8	△ 16.5	
			23.5	機械力	12.2	7.0	△ 5.2	
		酒米	3.2	人 力	35.3	18.8	△ 16.5	
				機械力	12.2	7.0	△ 5.2	
		大豆	1.8	人 力	64.8	54.5	△ 10.3	
				機械力	12.5	12.3	△ 0.2	
		黒大豆	0.5	人 力	64.8	54.5	△ 10.3	
				機械力	12.5	12.3	△ 0.2	
		キャベツ	1.8	人 力	143.0	137.0	△ 6.0	
				機械力	16.3	15.9	△ 0.4	
		トマト	0.7	人 力	744.0	730.0	△ 14.0	
				機械力	17.0	9.7	△ 7.3	
計			32.3 31.5		1,169.9	1,077.8	△ 92.1	
合 計			32.3 31.5		1,169.9	1,077.8	△ 92.1	

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分		農用地造成(ha)					干 拓(ha)					合計
利用区分	級地名	一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分 戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増 反 植		()	()	()	()	()	()	()	()	
		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1. 計画基準年
平成17年 有効雨量 1/10年確率
 連続干天日数 "
2. 計画かんがい方式
自然かんがい流下方式
3. 計画用水系統
別紙用水系統模式図参照
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名 項目	受益面積(ha) 事 業 名		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		純 用 水 量 (m^3/s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量 (m^3/s)	備 考
	経営 体育成 基盤整 備事業	計	普通期	代かき期	面 積 ha	一日 当たり 計画 平均 かん 水深 ($\text{mm}/\text{日}$)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 ha	一日 当たり 計画 平均 かん 水深 ($\text{m}^3/\text{日}$)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 ha	計画 平均 単位 用水量 ($\text{mm}/\text{日}$)	面 積 ha				
			計画 平均 単位 用水量 (mm)	計画 代かき 単位用 水量 (mm)													
日古木大池	22.68	22.68	21.3	150	34.6									代かき期 0.1715	15	代かき期 0.202	
中池	0.77	0.77															
前池	3.99	3.99															
南方前池	2.33	2.33															
門前奥池	1.62	1.62															
友田池	2.07	2.07												普通期 0.0882		普通期 0.104	
十七川取水	1.12	1.12															
合 計	34.58	34.58			34.6											0.202 0.104	(代かき期) (普通期)

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日当たり給水量		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					

(1) 水利用計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

[illegible]

(2) 用水対策
(ア) 貯水池

(第10表-3)

[illegible]

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

[illegible]

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

[illegible]

(工) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	受益面積 (ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	事 業 名					
	経営体育成基盤整備事業	計				
I-1～I-37	32.9	32.9	0.0004～0.0058	3,836.0 3,973.4	角リユーム 300～500型	
(ID-1～ID-9)	1.7	1.7				
計		34.6		3,836.0 3,973.4		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 岡山観測所
1/10年 19.1mm/hr
2. 計画排水方式 自然排水 4時間雨量4時間排除
3. 計画排水系統 別紙排水系統模式図参照
4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	項目	地区内流域面積(ha)	全流域面積 (km ²)			基準 雨量 (mm/hr)	降雨による 直接単位流 出量 (m ³ /s/km ²)			全排水量 (m3/S)		単位排水量 (m ³ /s/km ²)			備 考										
	事業名	経営体育成基盤整備事業	田	山林	宅地 その他		田	山林	宅等	自然 排水	機械 排水	田	山地	宅地 その他											
	既設－12 (十七川-1)	1.29	0.01			19.1	2.39	3.71	4.78	0.031		2.39	3.71	4.78											
	既設－33 (十七川-2)	4.94	0.05	0.06	0.01	19.1	2.39	3.71	4.78	0.798		2.39	3.71	4.78											
	既設－34 (十七川-3)	28.35	0.77	1.10	0.14	19.1	2.39	3.71	4.78	6.160		2.39	3.71	4.78											
	計	34.58	0.83	1.16	0.14					6.989															

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排 水 機				備考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域 面積 (ha)	受益面積 (ha)			計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排水本川			備 考
		事 業 名						名 称	計 画 洪水量 (m ³ /s)	計 画 洪水位 (m)	
		経営体育成 基盤整備事 業		計							
D-1 ~ D-29	176.73	26.10		26.10	0.002～ 3.235	3550.0 3557.4	KF300～500 400×500～1500×800	十七川			
ID-1 ~ ID-9	71.51	8.50		8.50	0.005～ 1.026	1467.0 1399.9	KF300～400 1400×800	十七川			
計	248.24	34.60		34.60		5017.0 4957.3					

(4) その他 該当なし

6. 湛水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線	5.0(4.0) × 0.72 4.0(3.5) × 3.40	砂利		
〃	4.0(3.5) × 0.49	アスファルト		
〃	4.0(3.0) × 3.07 3.5(3.0) × 0.17	砂利		
〃	3.0(2.5) × 0.42 3.0(2.5) × 0.11	砂利		
計	4.21 4.17			

(2) 索道

(第12表-2)

路線名 \ 項目	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備 考
計				

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表－1)

項目 土地改良利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図 該当なし

2. 土壤改良

(第13表－2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100a)	ha当たり所要量			備 考
			H2O	KCL			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪 水 到達時間 (hr)	計 画 洪水量 (m ³ /s)	安 全 洪水量 (m ³ /s)	必 要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最 大 調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km)		計画 洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節 流 量 (m ³ /s)	可 能 調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有 効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画

該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割 合 (%)	田面差 (m)	備 考
30a以上 (75×40)		21.5 20.9	62.1% 60.4%		
30a未満		13.1 13.7	37.9% 39.6%		
計		34.6			

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面 積 (ha)	表土扱い 要否の理由	扱い深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
34.6	地力保持	15	51,900	

(3) 末端導水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面 積(ha)			土 壌 統(区) 分	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 ($\frac{\text{リットル}}{\text{s}}/\text{ha}$)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 法	備 考
	事 業 名								
			計						
暗渠排水	29.6		29.6	グライ土壌 壤土型		3.47	0.55～0.65	自然排水	
計			29.6						

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備 考
	事 業 名					
			計			

3. 客土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区)名	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土 壌 の 性 質		備考
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) %	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s/ha)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なし

(2) 計画洪水量

該当なし

2. 堤体補強計画

該当なし

3. 取水施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名 称				位 置						
堤 体	型 式	流域面積(km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水 施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流 施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	
					-	-		-	-	

2. 頭首工

(第17表-2)

名 称	—		位 置		—			備 考
型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m³/s)	付帯施設	
		固定部	可動部	計				

3. 揚水機

(第17表-3)

項目	位 置	揚水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
名称			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構造物	備 考
	事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
	経営体育成基盤整 備事業	計								
支線	34.6 34.6	34.6 34.6		3.84 3.97		3.84 3.97	角フリューム 300～500型	1/700～ 1/100		
計		34.6 34.6				3.84 3.97				

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

3.0排水路の

(第18表-1)

項目 名称	位 置	型 式	構 造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備 考
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位 置	排水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	流 域 面 積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	経営体育 成基盤整 備事業		計								
D-1 ～ D-29	176.73		176.73	0.002～ 3.235	3.55 3.56		3.55 3.56	角フリューム 300～450型 大型フリューム 400×500～1500×800	1/600～ 1/100		
ID-1 ～ ID-9	71.51		71.51	0.005～ 1.026	1.47 1.40		1.47 1.40	角フリューム 300～400型 大型フリューム 1400×800	1/500～ 1/100		
計			248.24				5.02 4.96				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m)×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線	
				名称	構造	数量 (箇所)			半径 (m)	備考
地区内道路	支線	5.0(4.0)×0.72 4.0(3.5)×3.40	砂利 "							
"	"	4.0(3.5)×0.49	As							
"	"	4.0(3.0)×3.07 3.5(3.0)×0.17	砂利 "							
"	"	3.0(2.5)×0.42 3.0(2.5)×0.11	砂利 "							
計		4.21 4.17								

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項 目 路線名	名 称	規模構造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇 所)	備 考

2. 索道

(第19表-3)

項 目 名称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

項 目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項 目 区分	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

(3) 開墾作業

(第20表－3)

区分 \ 項目		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造成工法			
計				

(4) 地目変換

(第20表－4)

区分 \ 項目	面 積 (Ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表－5)

区分 \ 項目	数量	規模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表－6)

区分 \ 項目	数量	規模	構 造	備 考
計				

2. 土壤改良

(第20表－7)

項目 \ 区分	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん 酸 質 資材量 (t)	有 機 質 資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

第21表-1)

名 称	型 式	流域面積 (km ²)		位 置 堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
堤 体										
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取 水 施 設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放 流 施 設	型 式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

第21表-2)

名 称			位 置	堤 長 (m)			計 画 洪水位 (m)	付帯施設	備 考
				固定部	可動部	計			
型 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)							

(2) 導水路

第21表-3)

項目 水路名	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

第22表-1)

項目 名称	型 式	延 長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	

2. 潮止め

〔22表-2〕

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤 標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設
該当なし

4. 埋 立

〔22表-3〕

項目 区分	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備 考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 理 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
斎富・南方	34.6	75×40	時間積算	34.6	51,900	
計	34.6			34.6	51,900	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の 排 水 施 設			備 考
	事 業 名		勾 配	管 種	管 径 (mm)	延長 (m/ha)	勾 配	管 種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名 称	構造	数量 (m/ha)	
	経営体育 成基盤整 備事業	計														
暗渠排水	29.6	29.6	475	塩ビ管	75	33	475	陶管	60～ 75	0.7	15	750				
合計		29.6														

(2) 心土破碎

第23表-4-2)

区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

(第23表-5)

区分	項目			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	面 積 (ha)							
	事 業 名		計					
計								

4. 除礫

第23表-6)

区分\項目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量(m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

第23表-7)

区分\項目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
計						

(2) 排水路

第23表-8)

区 分\項 目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /S)	構 造	備 考
計				

(3) 侵食防止工

第23表-9)

名 称\項 目	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なし

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 千(m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

第 6 章 附帯工事計画

該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 平成 30年度

完了 令和 8年度

第 8 章 環境との調和への配慮

本地区は赤磐市田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置づけられており、工事の実施に際しては、下流への濁水を最小限にするなど環境への影響を軽減する。

また、希少動物が発見された場合は、その時点で保全方法について協議する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の農地は不整形かつ狭小で、農道及び用排水路も未整備のため、効率的な農業経営を阻害されているのが現状である。したがって、区画整理と暗渠排水により農地の汎用化を図り、水稻、黒大豆等を栽培し農地の高度利用を計画する。また、中型農業機械の導入を図り生産性を向上させることにより農業経営の安定化を図るように、換地計画を作成する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全換地区	赤磐市斎富・南方	39.2ha 39.8ha

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実施図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。	国土調査完了

2. 用途別予定地積

(単位 : ha (第25表-3))

用途 (取得予定者)		非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地												機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施工 地域に含める 土地（令第1 条の9（）書 き）			本事業によ って生ずる 土地改良施 設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途 用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合 計	国	県	市 町 村 他	合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						土 地 改 良 施 設	そ の 他	小 計	計	改 良 区	そ の 他			計	宅 地	そ の 他		計	農 業 施 設 生 活 上 ・ 経 営 用 地	施 設 用 地	必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	施 設 用 地						宅 地 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
換地区名	前後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

3. 農用地集団化の方針

第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い
全換地区	集落別集団化 各集落ごとにその耕作地の集団化を図るものとし、各集落の団地の位置は従前に各集落の耕作地の集まっていたところを中心とし、従前に比べ各集落の土地に著しい良否の差が生じないように定める。	担い手農家の経営農用地の連担化を図る上で最も適当な位置を選定し集団化する。担い手農家へ利用権設定等が行なわれている農用地は貸し手農家の合意を得て、又は農作業を受託している農用地は委託農家の合意を得て、換地計画において集積されることとなる担い手農家の経営農用地の隣接地に集団化する。他の各農家の農用地も出来るだけ大規模に集団化するものとし、換地は各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める。	2.0	移動畦畔 畦畔は、配分面積に応じて移動して定める。畦畔の設定にあたり、短辺が10m以下になるような設定はしない。

4. 非農用地の換地方法

(令和4年4月現在)

第25表-5)

区分 区名	用途	非農用地区域 の位置の概略	面積 (㎡)	換地の 手法	換地取得予定者	その他
斎富・南方	宅地	赤磐市斎富604-1付近	約170㎡	特定用途用地	丸畑利之	
	施設用地	赤磐市斎富598-1付近	約250㎡	特定用途用地	斎富農事組合	
	宅地	赤磐市斎富452-1、453-1付近	約1200㎡	異種目換地	藤原啓尋	
	施設用地	赤磐市斎富595-1、597-1付近	約400㎡	異種目換地	岩澤敏行	

(令和8年3月現在)

区分 区名	用途	非農用地区域 の位置の概略	面積 (㎡)	換地の 手法	換地取得予定者	その他
斎富・南方	宅地	赤磐市斎富603-1、604-1付近	485.35㎡	特定用途用地	丸畑利之	
	駐車場用地	赤磐市斎富452-1、453-1付近	1141㎡	異種目換地	藤原啓尋	
	施設用地	赤磐市斎富524-1付近	123㎡	異種目換地	杉原洋二	
	施設用地	赤磐市斎富578-1、595-1付近	849㎡	異種目換地	片山毅	
	駐車場用地	赤磐市斎富576-1、577、579付近	511㎡	異種目換地	岩澤敏行	
	資材置場	赤磐市斎富716-1付近	324㎡	異種目換地	景山恵子	
	資材置場	赤磐市斎富673-1付近	360㎡	異種目換地	橋本初	
	施設用地	赤磐市南方738-1、741、745付近	561㎡	異種目換地	遠藤愛子	
	資材置場	赤磐市南方925-1付近	34㎡	異種目換地	岡崎進	
	資材置場	赤磐市南方925-1付近	54㎡	異種目換地	岡崎進	
	宅地	赤磐市南方987-5付近	118.08㎡	特定用途用地	長島信夫	

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

- (1) 調査項目（標準地よりの増減点方式）
広狭、形状、かんがい、日照の良否等を調査項目の基準とする。
- (2) 調査の方法
評価委員会を設置し、委員により各筆を評価する。

2. 清算の方法

従前の土地の価額総額と換地の価額総額との差額（増加額）を従前地積に比例して、各従前の土地に按分する比例地積清算方式とする。

第5節 換地計画樹立の年度計画

（ 第25表－6 ）

区 分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
全換地区	令和2年度 ～ 令和6年度	令和8年度	令和8年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

地区全部について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2により準用する同法54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 26 表)

単位 : 千円

区分		総 量		備 考
		事 業 量	事業費 (千円)	
区 画 整 理		34.6ha	582,900 618,177	
暗 渠 排 水		29.6ha	90,900 94,748	
測 量 試 験 費			171,300 191,747	
補 償 費			15,200 5,746	
換 地 費			27,700 29,582	
工 事 雑 費			17,000 15,700	
事 務 費			45,000 32,300	
計			950,000 988,000	
(参 考) 関 連 事 業	該 当 な し			

第 1 1 章 効 用

(第 2 7 表)

事業名	項 目 区 分	年総効果(便益)額 (千円)	年総増加農業所得額 (千円)	現況年総農業取得額 (千円)	備 考
経営 体育 成基 盤整 備事 業	作物生産効果	19,941 24,936	7,346 8,178		
	営農経費節減効果	36,175 34,624	37,450 35,931		
	維持管理費節減効果	△ 705 △ 742	△ 188 △ 199		
	災害防止効果 (農業資産)				
	災害防止効果 (一般資産)				
	災害防止効果 (公共資産)				
	国産農産物安定供給効果	3,255 3,858			
	計	58,666 62,676	44,608 43,910	9,768 11,049	

〈 参考 〉 総費用 : 1,246,982
1,576,451 千円

総便益費 : 1,326,604
1,630,164 千円

総費用総便益比 1.06
1.03

第 1 2 章 関連する事業

(第 2 8 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容

第 1 3 章 現況 ・ 計画図面

1. 計画一般図

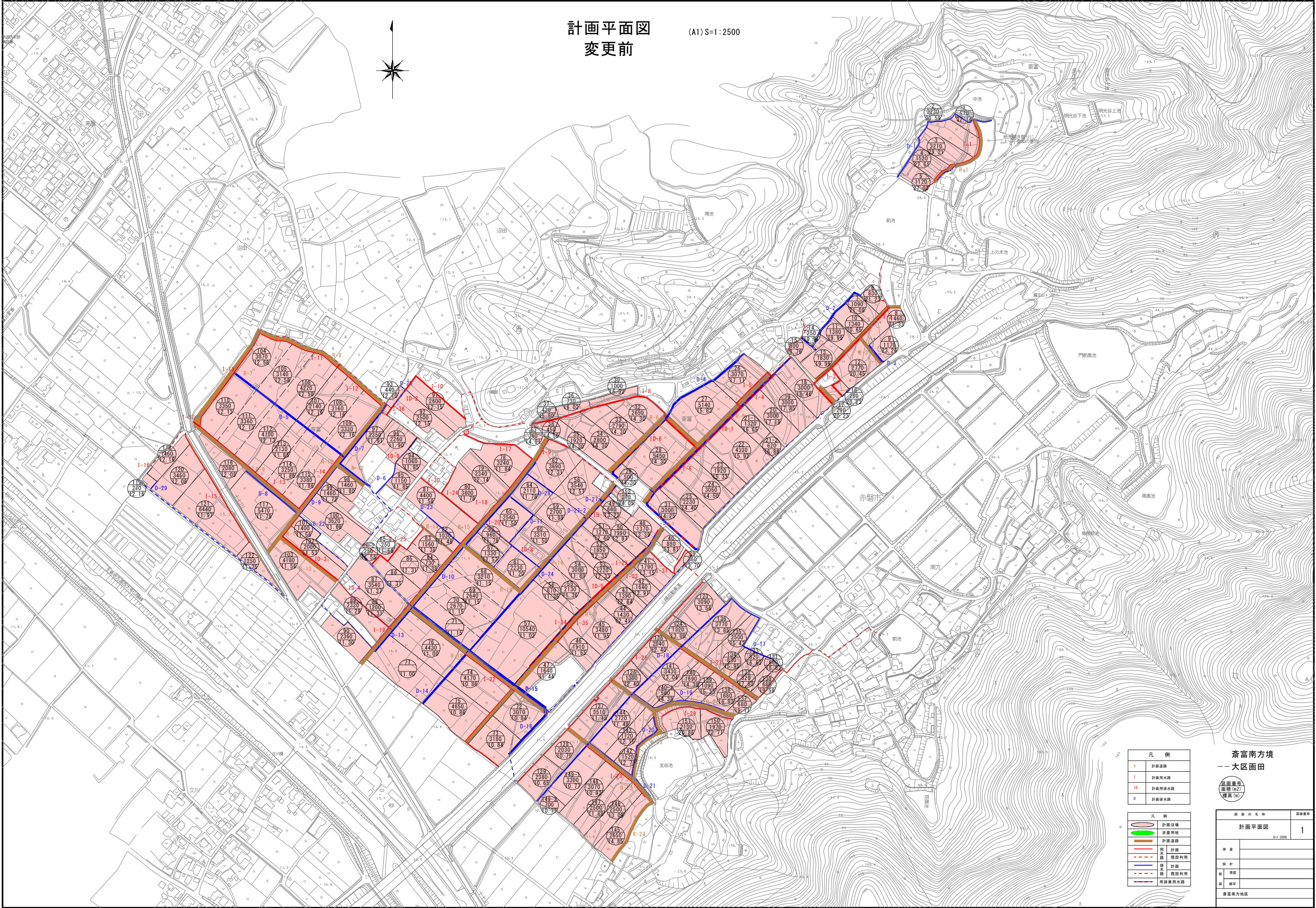
別添

2. 用排水系統図

別添

計画平面図
変更前

(A1) S=1:2500



凡 例	
R	計画道路
I	計画用水路
D	計画排水路

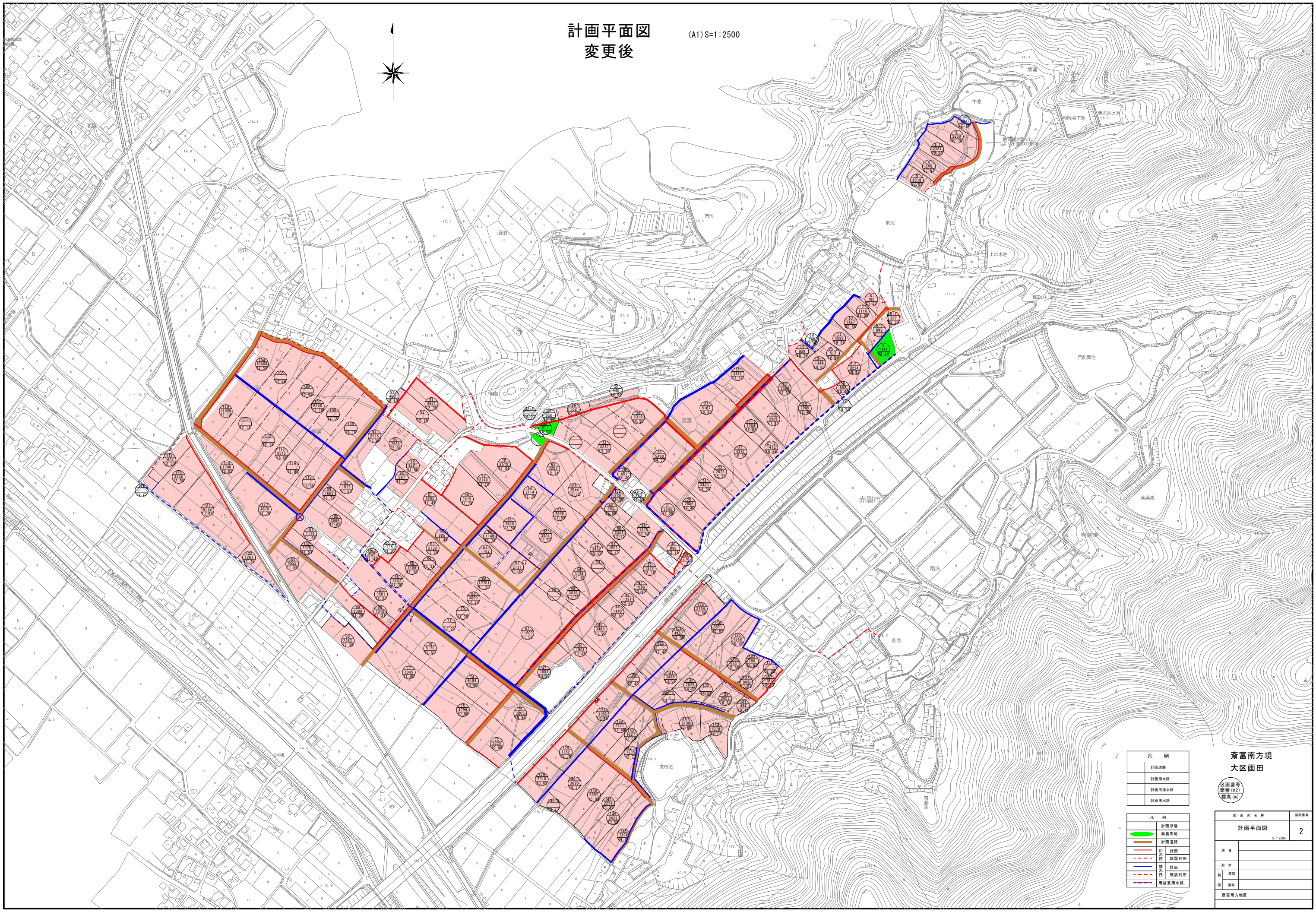
凡 例	
計画区域	計画区域
非農用地	非農用地
計画道路	計画道路
用水路	用水路
排水路	排水路
排水路	排水路
排水路	排水路

赤磐南方境
-- 大区画田

図 面 の 名 称		図面番号
計画平面図		1
測 量		
設 計		
製 図		
審 査		
赤磐南方地区		

計画平面図
変更後

(A1) S=1:2500



凡 例	
	計画道路
	計画用水路
	計画排水路
	計画排水路

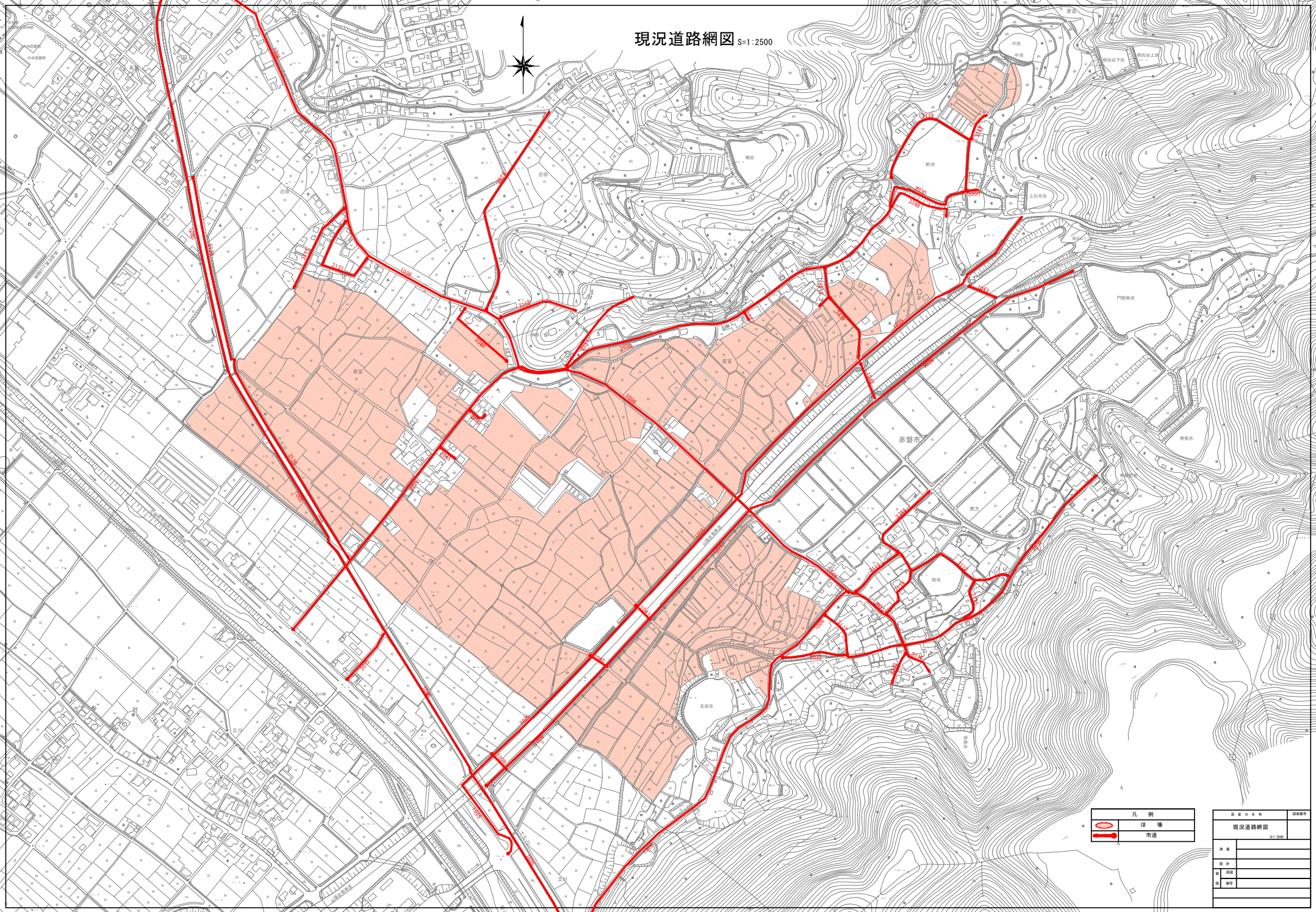
凡 例	
	計画区域
	非農用地
	計画道路
	計画用水路
	計画排水路
	計画排水路

赤磐南方境
大区画田

区画番号
面積(m²)
標高(m)

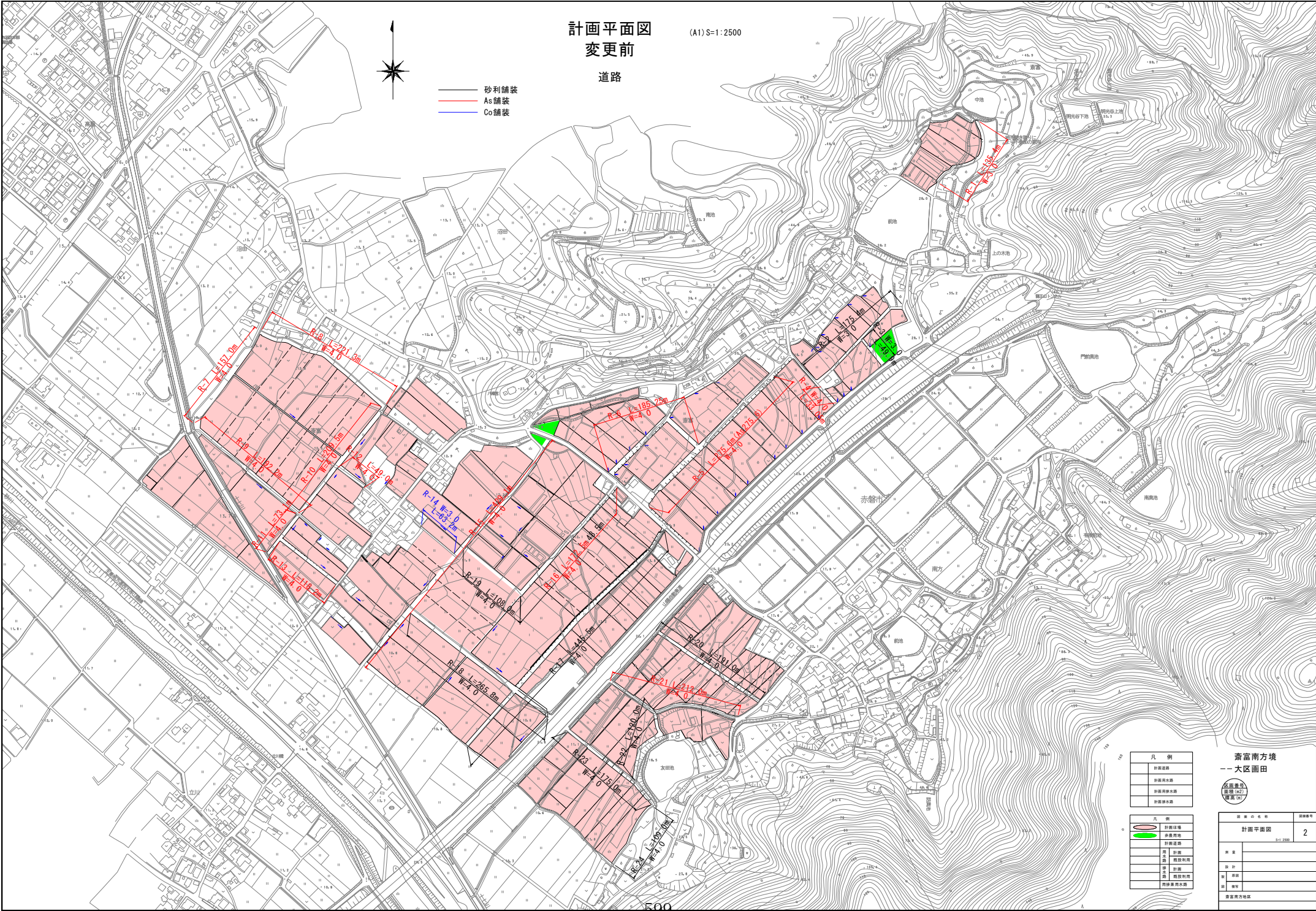
図 面 の 名 称		図面番号
計画平面図		2
測 量		
設 計		
製 図		
審 査		
赤磐南方地区		

現況道路網図 S=1:2500



凡 例	
	線 路
	市道

図 表 示 部		図 表 示 部
現況道路網図		
S=1:2500		
製 図		
設 計		
校 対		
審 査		



計画平面図
変更前
道路

(A1) S=1:2500

- 砂利舗装
- As舗装
- Co舗装

凡 例	
	計画道路
	計画排水路
	計画排水路
	計画排水路

凡 例	
	計画道路
	計画排水路
	計画排水路
	計画排水路

斎富南方境
一大区画田

面積 (a2)
面積 (a1)

計画平面図
S=1:2500

2

計画
設計
図
様

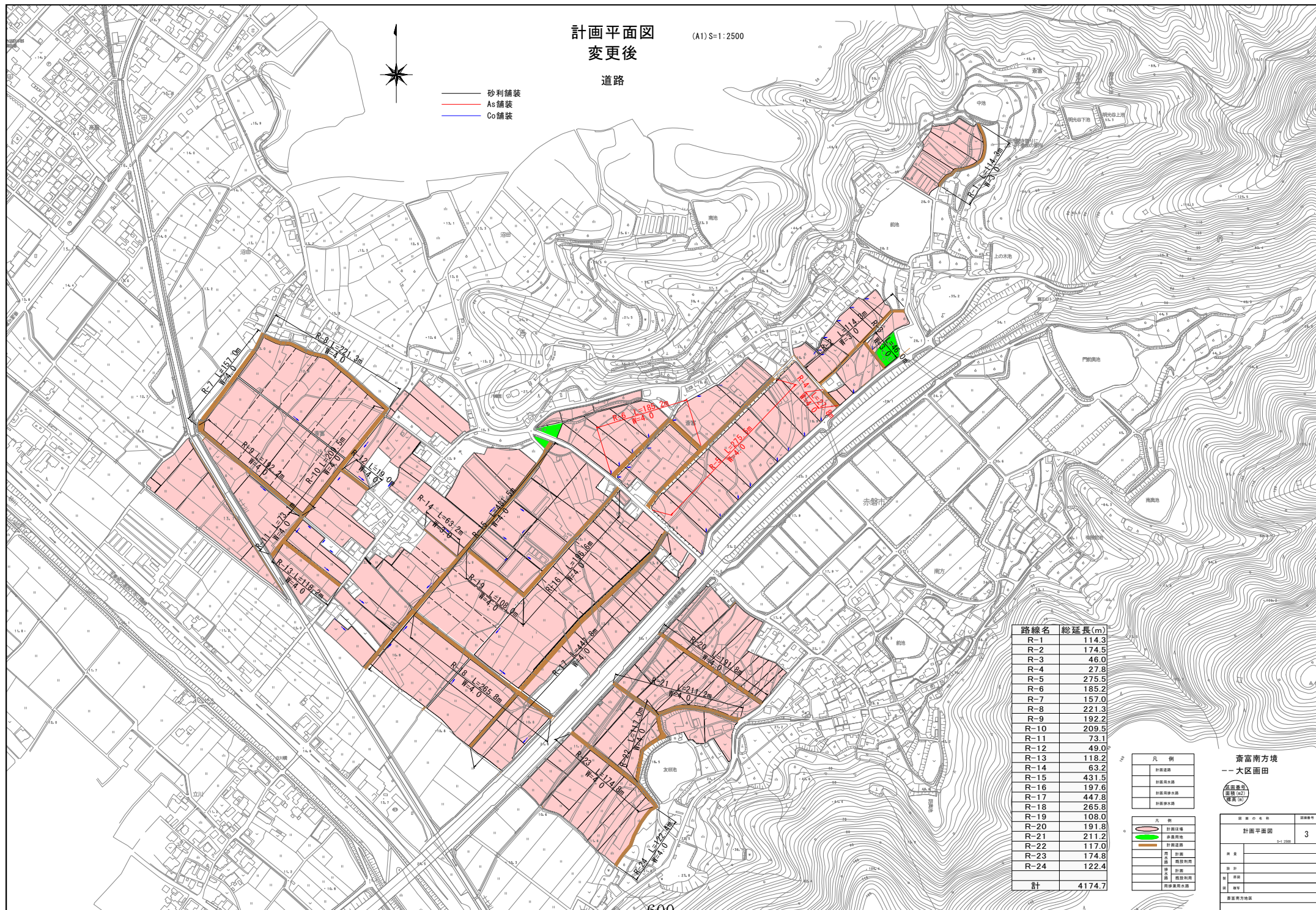
設計
図
様

設計
図
様

(A1) $S=1:2500$



— 砂利舗装
 — As舗装
 — Co舗装



路線名	総延長(m)
R-1	114.3
R-2	174.5
R-3	46.0
R-4	27.8
R-5	275.5
R-6	185.2
R-7	157.0
R-8	221.3
R-9	192.2
R-10	209.5
R-11	73.1
R-12	49.0
R-13	118.2
R-14	63.2
R-15	431.5
R-16	197.6
R-17	447.8
R-18	265.8
R-19	108.0
R-20	191.8
R-21	211.2
R-22	117.0
R-23	174.8
R-24	122.4
計	4174.7

凡 例	
	針面道路
	針面用水路
	針面用排水路
	針面排水路

凡 例	
	計画区域
	非農用地
	計画道路
	用水路
	計画
	既設
	用水路
	計画
	既設
	用水路

齋富南方境
— 大区画田

図面の名称		図番
計画平面図		3
S-1.2500		
測量		
設計		
監	承認	
印	署名	

現況用水系統図 S-1:2500



日古木大池より

凡 例	
	用水路 計画用水路
	用水路 既設利用
	用水路 兼用水路

受 益 区 分	
	日古木大池掛り
	中池掛り
	前池掛り
	南方前池掛り
	門前奥池掛り
	友田池掛り

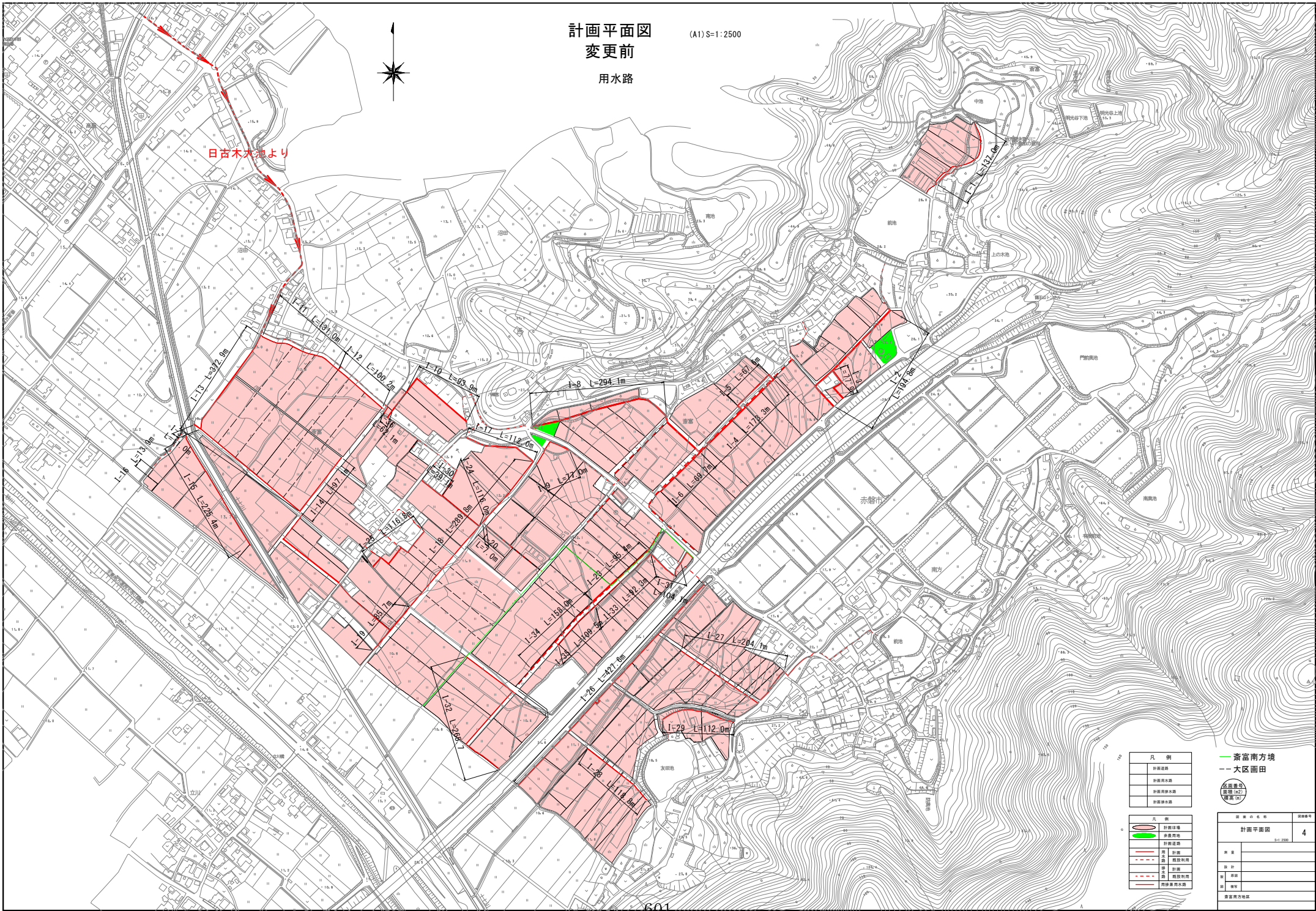
現況用水系統図	
縮 尺	S-1:2500
製 図	
検 査	
審 査	
決 定	

計画平面図
変更前
用水路

(A1) S=1:2500



日古木大池より



凡 例	
計画道路	
計画用水路	
計画排水路	
計画排水路	

凡 例	
計画道路	
計画用水路	
計画排水路	
計画排水路	

赤富南方境
一 大区画田

赤富南方境
一 大区画田

赤富南方境
一 大区画田

赤富南方境
一 大区画田

赤富南方境
一 大区画田

赤富南方境
一 大区画田

赤富南方境
一 大区画田

計画平面図
変更後
用水路

(A1) S=1:2500



日古木大池より

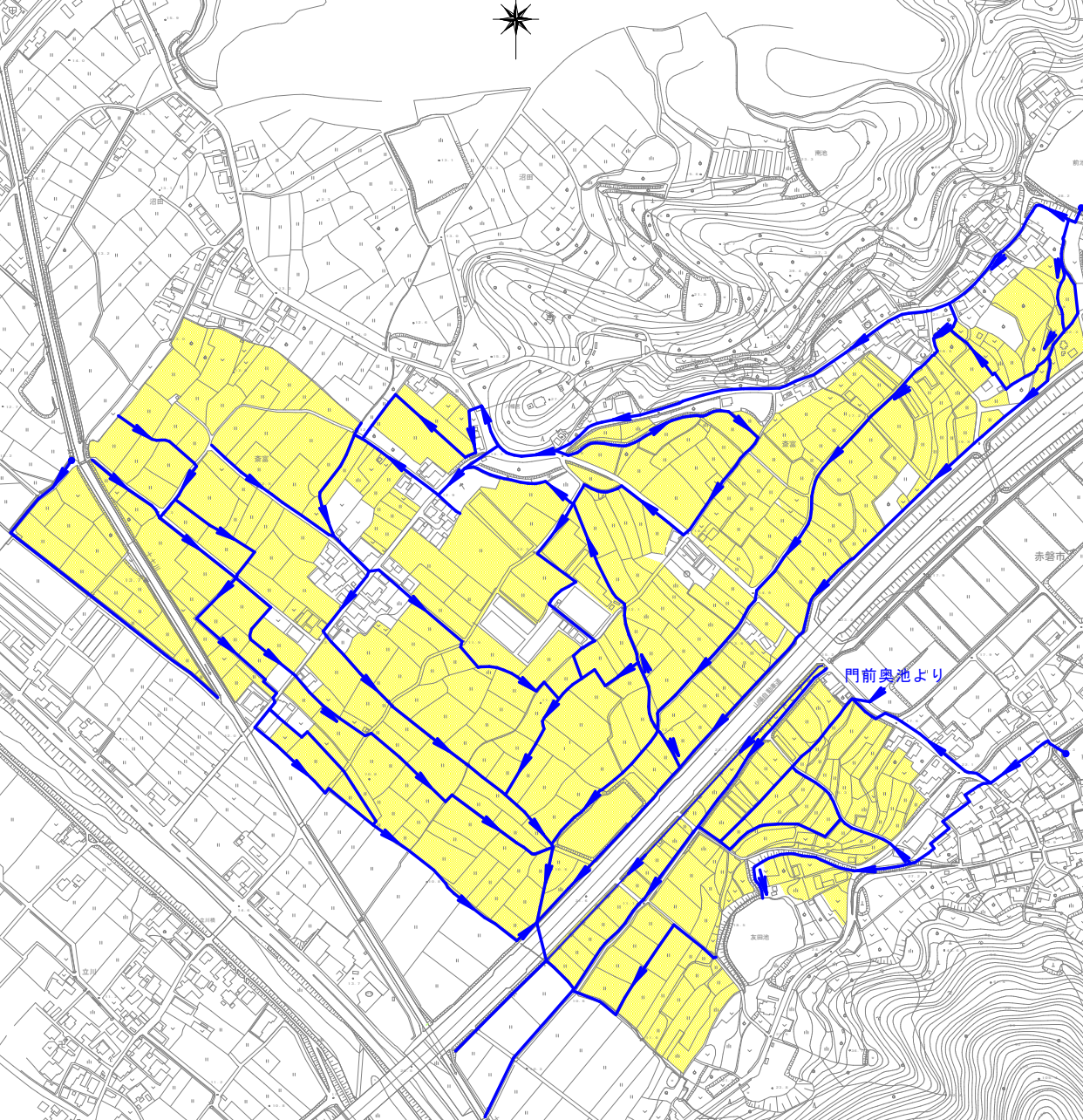
路線名	総延長(m)
I-1	130.4
I-2	207.8
I-3	91.8
I-8	294.8
I-9	71.5
I-10	93.9
I-11	126.3
I-12	104.0
I-13	362.5
I-14	102.9
I-15	225.4
I-16	13.9
I-17	102.1
I-18	286.7
I-19	85.1
I-20	6.0
I-24	120.8
I-25	113.0
I-26	420.8
I-27	201.3
I-28	124.5
I-30	39.8
I-31	104.3
I-32	265.7
I-33	95.6
I-35	113.6
I-36	62.1
I-37	6.8
計	3973.4

凡 例
計画道路
計画用水路
計画排水路
計画排水路
計画排水路

凡 例
計画道路
計画道路
計画道路
計画道路
計画道路

計画道路
計画道路
計画道路
計画道路
計画道路

現況排水系統図 S=1:2500

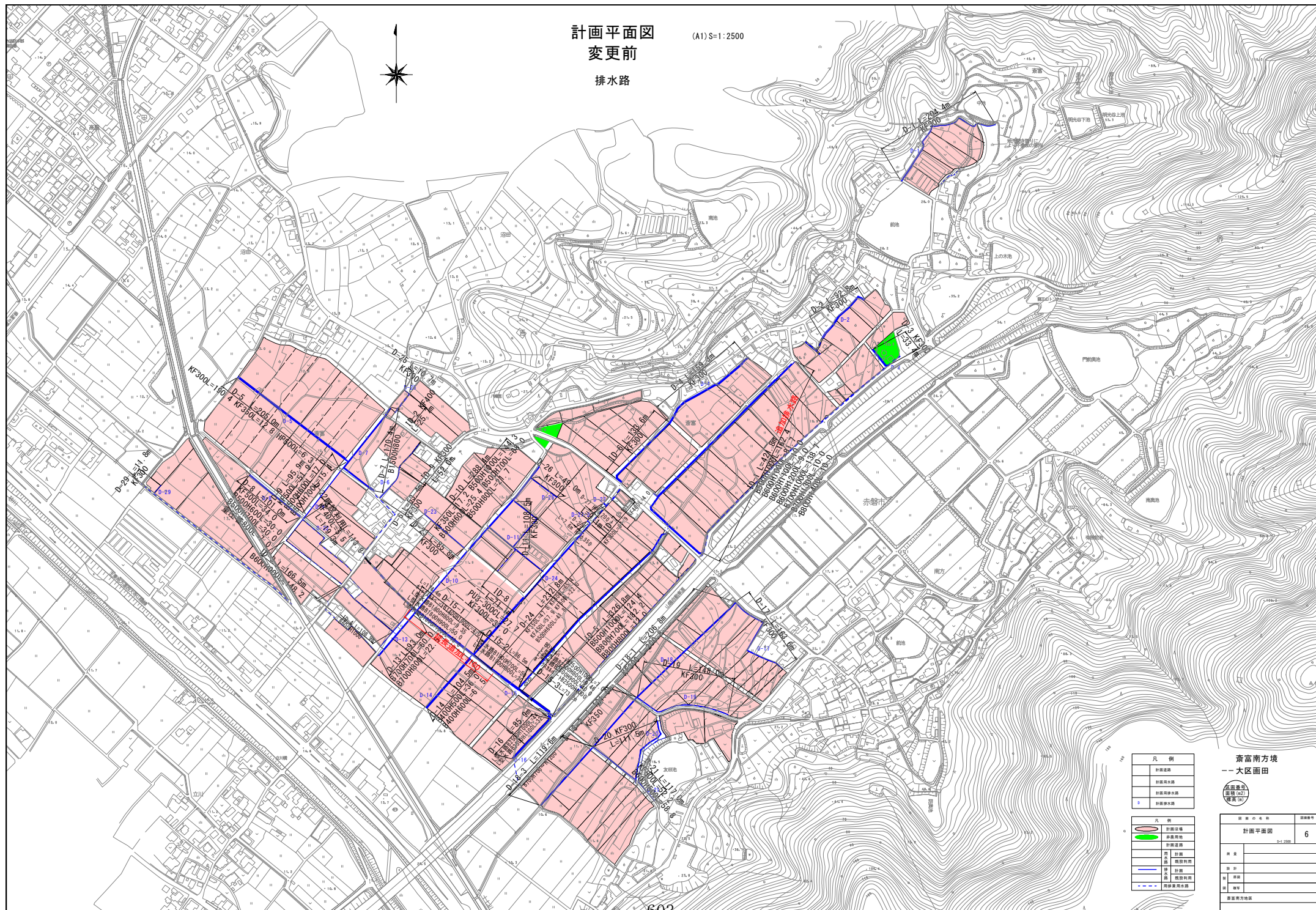


凡 例	
	排水路

流域区分	
	前 池
	十 七 川

図 表 明 記		図 表 明 記
現況排水系統図		
作 者		
設 計		
校 査		
審 査		

(A1) $S=1:2500$



凡 例	
	計畫道路
	計畫用水路
	計畫用排水路
0	計畫排水路

凡 例		
	計画区域	
	歩道用地	
	計画道路	
	用水路	計画
		既設路
	排水路	計画
		既設路
	排水路	

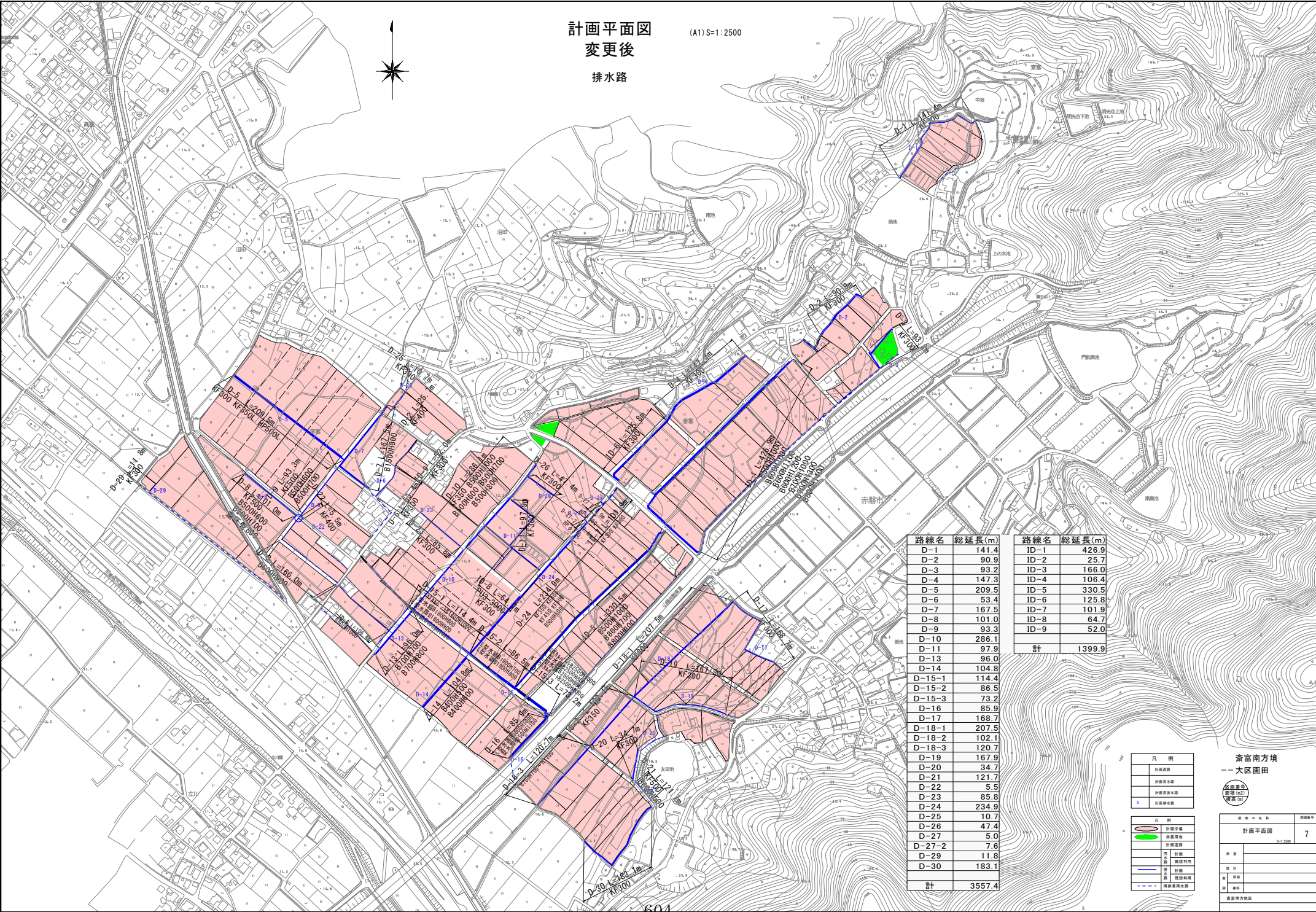
齋富南方境
——大区画田

区画番	面積 (m ²)	標高 (m)
1	100	100
2	200	200
3	300	300
4	400	400
5	500	500
6	600	600
7	700	700
8	800	800
9	900	900
10	1000	1000
11	1100	1100
12	1200	1200
13	1300	1300
14	1400	1400
15	1500	1500
16	1600	1600
17	1700	1700
18	1800	1800
19	1900	1900
20	2000	2000
21	2100	2100
22	2200	2200
23	2300	2300
24	2400	2400
25	2500	2500
26	2600	2600
27	2700	2700
28	2800	2800
29	2900	2900
30	3000	3000
31	3100	3100
32	3200	3200
33	3300	3300
34	3400	3400
35	3500	3500
36	3600	3600
37	3700	3700
38	3800	3800
39	3900	3900
40	4000	4000
41	4100	4100
42	4200	4200
43	4300	4300
44	4400	4400
45	4500	4500
46	4600	4600
47	4700	4700
48	4800	4800
49	4900	4900
50	5000	5000
51	5100	5100
52	5200	5200
53	5300	5300
54	5400	5400
55	5500	5500
56	5600	5600
57	5700	5700
58	5800	5800
59	5900	5900
60	6000	6000
61	6100	6100
62	6200	6200
63	6300	6300
64	6400	6400
65	6500	6500
66	6600	6600
67	6700	6700
68	6800	6800
69	6900	6900
70	7000	7000
71	7100	7100
72	7200	7200
73	7300	7300
74	7400	7400
75	7500	7500
76	7600	7600
77	7700	7700
78	7800	7800
79	7900	7900
80	8000	8000
81	8100	8100
82	8200	8200
83	8300	8300
84	8400	8400
85	8500	8500
86	8600	8600
87	8700	8700
88	8800	8800
89	8900	8900
90	9000	9000
91	9100	9100
92	9200	9200
93	9300	9300
94	9400	9400
95	9500	9500
96	9600	9600
97	9700	9700
98	9800	9800
99	9900	9900
100	10000	10000

調査の名称		調査番号
計画平面図		6
S=1.2500		
測量		
設計		
製	原図	
図	縮写	
調査南方地区		

計画平面図
変更後
排水路

(A1) S=1:2500



路線名	総延長(m)
D-1	141.4
D-2	90.9
D-3	93.2
D-4	147.3
D-5	209.5
D-6	53.4
D-7	167.5
D-8	101.0
D-9	93.3
D-10	286.1
D-11	97.9
D-13	96.0
D-14	104.8
D-15-1	114.4
D-15-2	86.5
D-15-3	73.2
D-16	85.9
D-17	168.7
D-18-1	207.5
D-18-2	102.1
D-18-3	120.7
D-19	167.9
D-20	34.7
D-21	121.7
D-22	5.5
D-23	85.8
D-24	234.9
D-25	10.7
D-26	47.4
D-27	5.0
D-27-2	7.6
D-29	11.8
D-30	183.1
計	3557.4

路線名	総延長(m)
ID-1	426.9
ID-2	25.7
ID-3	166.0
ID-4	106.4
ID-5	330.5
ID-6	125.8
ID-7	101.9
ID-8	64.7
ID-9	52.0
計	1399.9

凡 例
計画道路
計画排水路
計画排水路
計画排水路

凡 例
計画道路
計画排水路
計画排水路
計画排水路

齊富南方境
一 大区画田

面積 (a2)
面積 (a2)

計画平面図

7

計画

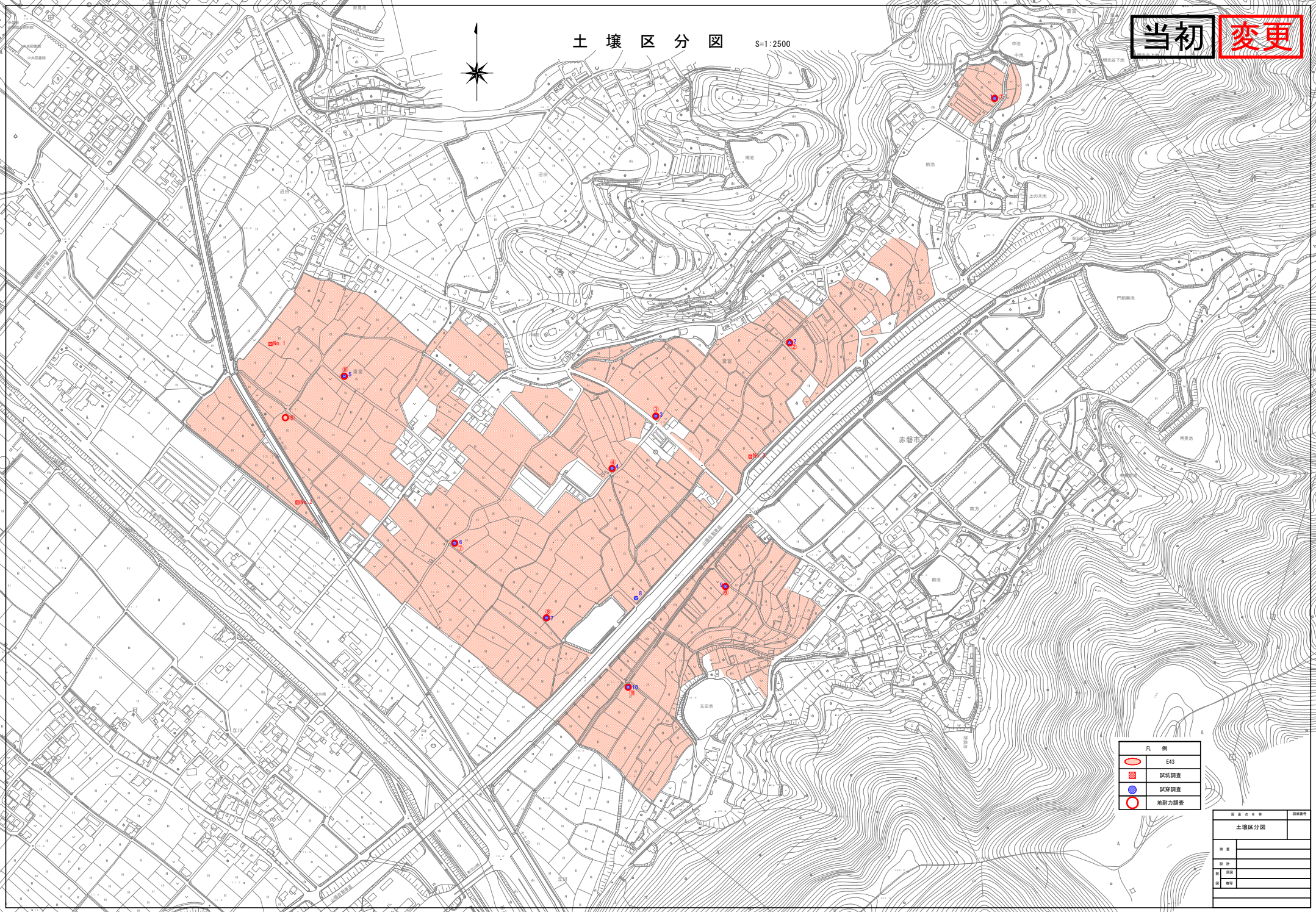
設計

監理

調査南方地区

土 壤 区 分 図 S=1:2500

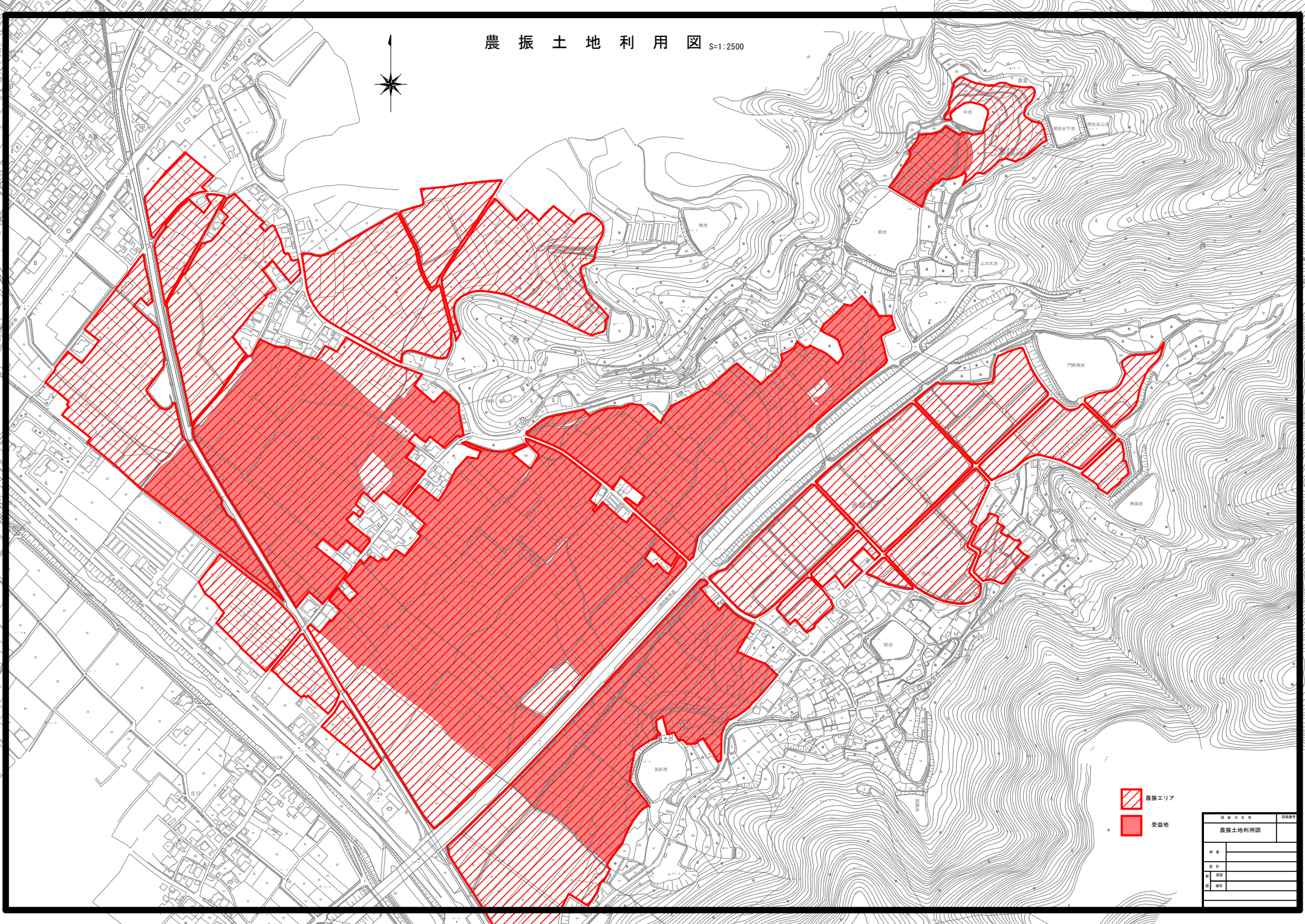
当初 変更



凡 例	
	E43
	試験調査
	試験調査
	地耐力調査

図 説		図 説
土 壤 区 分 図		
所 在		
部 門		
課 長		
課 員		

農 振 土 地 利 用 図 §=1:2500



- 農振エリア
- 受益地

図 表 の 名 称		図 表 番 号
農 振 土 地 利 用 図		
所 属		
部 門		
課		
係		